

ふみびと

第313号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

待ち遠しさが 日々の充足感

「もどかしさ」の中に

新年最初のご挨拶。家族、親戚や友人、職場や取引先の方など、色々な方と交わすことがあると思いますが、いつもの挨拶より少しかしこまったやり取りのせいか、いつも何となく新鮮に感じるような気がします。

それは手紙でのご挨拶もやはり同じ。ペンを持ち机に向かうのも、いつもより少し気が引き締まるような感じがします。今書いている手紙が届くのは何日か後。それが

届くまで、そして返事が返ってくるまでの待ち遠しいような、もどかしいような気持ちを楽しむのも、やはりいつもとは少し違うような。手軽にできるやりとりであったはずのメールですら、今はプライベートな関係ではあまり使われなくなつて、アプリでもつと手軽に短くやり取りされる時代。

何日も待つなんて今の時代「らしくない」のかもしれない。それでもアプリでの一通のメッセージを受け取るよりも、手書きの手紙一通をもらつてじっくり読む方が何となく嬉しいような気がする。きっと誰もが同じような気がします。

メールやアプリなら指先でたった数秒、数分でもできるたった一回ずつのやりとり。それに比べたらかかる労力は何倍どころではないもの。だからこそ書く間に自分の気持ちをゆつくりと



新しい年がやって来た。さて、今年の目標は何にしようと考えて。これまで仕事や勉強で何度も目標を立てた。目標の立て方も頭に入っている。まず達成したいことを決め、するべきことを決める。簡単に苦勞なくできることがいい。たとえば、勉強のために毎日5分だけ早起きをするだとか、

健康のために15分歩くだとか。そのうちにふと「これではまるで作業みたいだな」と思う。3年

の間、いろんなことを我慢してきた反動もあるのか、「せつかくだからもっと楽しんで未来のことを

叶わずとも、笑みを

考えたい」と感じる。確実に目標を達成するのも大事だけれど、今は気持ちがはずむことを優先したい。たとえ叶わなくなつて、考えるだけで笑みがこぼれてしまつような夢を抱くのも悪くないんじゃないか。

まず、心躍らせる夢を見つける。今年はそのからはじめたいと思う。

風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手名を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。事務信同の返信筒にそのまま封入し、郵便局で封入済みです。



新年のご挨拶

令和五年、本年もどうぞよろしくお願い致します。さて、1月も半ばが過ぎ、毎年恒例の「今年目標（みんなの投稿）」を募集いたします！皆様にも素敵な一年と素晴らしいご縁がありますように。詳細は別紙をご覧ください。

1月の発送日

次回発送は30日です。送りたいお手紙がある場合には3日前（27日）までに事務局に到着することを確認の上ポストに投函してください。ギャラリーページに発送日カレンダーを掲載しました。

